

2021年4月1日～2022年3月31日の間に 全病棟において誤嚥性肺炎の治療を受けられた方 及びご家族の方へ

「誤嚥性肺炎が長期化する現状と課題の後ろ向き研究 ～診断群分類別包括評価を用いて～」への
ご協力をお願い

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者 川崎医科大学総合医療センター 9階東病棟看護師 永崎 里奈
研究分担者 川崎医科大学総合医療センター 訪問看護ステーション看護師 牧野 桃子
川崎医科大学総合医療センター 9階東病棟看護師 岡田 桃子
川崎医科大学総合医療センター 9階東病棟看護師 大崎 愛莉

1. 研究の概要

近年厚生労働省は、医療制度の安定性・持続可能性の向上のために医療費の適正化を提言しています。その取り組みの一つとして、平均在院日数の短縮が挙げられており、医療機関は早期退院の推進が求められています。

9階東病棟は、呼吸器内科を主とした混合内科病棟であり、特に誤嚥性肺炎を疾患にもつ患者が多くを占めています。当院は、診断群分類別包括評価（以降DPC）導入病院であり、誤嚥性肺炎のDPC以上が占める割合は34.6%となっており、入院が長期化する傾向にあります。その要因として絶飲食期間があることや、嚥下機能・食事形態の評価等それぞれに時間を要することが考えられます。しかし、該当する先行研究が無いため明確な要因は不明です。誤嚥性肺炎患者は他病棟にも入院されることがあるため、全病棟を対象に誤嚥性肺炎患者のDPC・期間で退院した患者と以上となった患者のデータを比較して現状と要因を明らかにし、看護・退院支援介入の課題を明確にすることを目的としました。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2021年4月1日～2022年3月31日の期間中に川崎医科大学総合医療センターへ誤嚥性肺炎で入院された方を研究対象とします。

2) 研究期間

倫理委員会承認日～2025年3月31日

3) 研究方法

上記の研究対象期間に、当院において誤嚥性肺炎の治療を受けられた方で、研究者が診療情報をもとに、

年齢、入院期間、介護度、日常生活自立度、入院前の生活場所（自宅、介護施設、病院等）、誤嚥性肺炎以外の既往、呼吸器疾患の既往・在宅酸素導入の有無、嚥下障害の原因疾患（脳血管障害、パーキンソン）意識レベル（JCS）、栄養状況（血清アルブミン値、BMI、総蛋白値）、リハビリテーション介入までの日数、感染兆候（白血球値、C反応性たんぱく値、体温、脈、血圧、酸素飽和度、酸素需要）、点滴投与期間（抗生剤）、酸素投与の有無・投与期間、当院での胃婁造設の有無・胃瘻造設のICから作成までの期間、せん妄状況（ICDSC、認知症高齢者の日常生活自立度判定基準）、経口摂取の状況（絶飲食日数、入院前の食事摂取状況、嚥下造影検査の有無・入院から嚥下造影検査実施までの日数、嚥下造影検査後の食事形態、経管栄養の有無）、家族構成・家族の支援の有無、退院先（施設・転院・自宅、死亡退院等）、退院支援カンファレンスまでの日数、退院支援カンファレンスの記録、主治医の転院調整開始許可から転院・退院調整までに要した日数に関する比較を行い、DPC データに関する分析を行い、DPC ・ と 以上で長期化する要因について調べます。

4) 使用する情報の種類

年齢、入院期間、介護度、日常生活自立度、入院前の生活場所（自宅、介護施設、病院等）、誤嚥性肺炎以外の既往、呼吸器疾患の既往・在宅酸素導入の有無、嚥下障害の原因疾患（脳血管障害、パーキンソン）意識レベル（JCS）、栄養状況（血清アルブミン値、BMI、総蛋白値）、リハビリテーション介入までの日数、感染兆候（白血球値、C反応性たんぱく値、体温、脈、血圧、酸素飽和度、酸素需要）、点滴投与期間（抗生剤）、酸素投与の有無・投与期間、当院での胃婁造設の有無・胃瘻造設のICから作成までの期間、せん妄状況（ICDSC、認知症高齢者の日常生活自立度判定基準）、経口摂取の状況（絶飲食日数、入院前の食事摂取状況、嚥下造影検査の有無・入院から嚥下造影検査実施までの日数、嚥下造影検査後の食事形態、経管栄養の有無）、家族構成・家族の支援の有無、退院先（施設・転院・自宅、死亡退院等）、退院支援カンファレンスまでの日数、退院支援カンファレンスの記録、主治医の転院調整開始許可から転院・退院調整までに要した日数等

5) 情報の保存

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から5年間、川崎医科大学総合医療センター9階東病棟内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。

6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの＜試料・情報＞が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2024年12月31日までの間に、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<お問い合わせ・連絡先>

川崎医科大学総合医療センター 9階東病棟

氏名：永崎 里奈

電話：086-225-2111 > 内線 89010（平日：8時30分～17時00分）

ファックス：086-221-1101

E-mail：nagasaki@hp.kawawasaki-m.ac.jp

3 . 資金と利益相反

研究者自己負担で、パスワード施錠可能な USB の購入等に使用します。

他所からの資金の受入はありません。

本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。